

## 「甲状腺癌の術前 FDG-PET と予後についての検討」

### 1. 研究の対象

2012年11月から2020年10月に当センターで甲状腺癌の診断で、術前にFDG-PET検査を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

「目的」FDGを用いたPET検査は主に転移診断に用いられてきましたが、甲状腺でのFDG集積が甲状腺癌の悪性度を含めた性質を示し、予後と関連する可能性があります。PET検査がこれまで以上に治療法選択の基準になるかどうかを調査します。

「方法」対象患者さんの下記の項目の調査を行う

「研究期間」倫理委員会承認後～2023年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料： なし

情報： 診断名、年齢、性別、治療内容、PET画像、転帰

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科

研究責任者：主任部長 宇野敦彦

電話 06-6692-1201 内線 2290